

サテライトデポ方式

サテライトデポ方式とは、「いしかわ旬の鮎だより®」のデリバリー方式
Satellite：サテライト：1. 衛星、人工衛星 2. 衛星国、衛星都市
Deposit：デポジット(デポ)：1. 置く 2. 沈殿させる 3. 預ける、供託する
新英和辞典 第4版 研究社 より

また、デポは登山用語や流通用語としても頻繁に使用されている。「デポ 登山」や「デポ 流通」で検索すると、数多の解釈・説明がヒットするので参照されたい。

【イメージと特徴】

サテライトデポ方式の「サテライト」は(複数の)拠点・中継地・お渡し場所を「デポ」は「いしかわ旬の鮎だより®」の置き場所・一時保管場所をイメージ願いたい。具体的には、昔からある取次店のイメージ、クリーニングの取次店が良い例である。

- (1) 「いしかわ旬の鮎だより®」の製造は「すしセン®」製造ラインにて一括製造
- (2) サテライト店は「すしセン®」製造ラインまで取りに来ていただく方式
- (3) お客様にサテライト店まで取りに来ていただき、お代をお支払いいただく方式
- (4) お客様(利用者)登録制(無料)
- (5) 「いしかわ旬の鮎だより®」は当日予約受注生産制
- (6) キャンセル年2回まで可。3アウト制。お客様都合の返品・返金は原則無し

【上記(1)～(6)に対する目的】

- (1) ①一括集中管理による食の安全・安心の担保・徹底対策
②製造コストの大幅減→製品を安価で提供
- (2) ①サテライト店の人員・車輛の活用による配送コストの低減
②【食品宅配・配送の問題・限界点①】参照
- (3) ①お客様の待ち時間からの解放、【食品宅配・配送の問題・限界点②】参照
②お客様に宅配コストのご負担を掛けない→製品を安価で提供
③【食品宅配・配送の問題・限界点①】参照
- (4) ①食の安全・安心の担保と食のトレーサビリティ掌握。不特定多数に販売しない
②本人様確認。偽計による注文の略(掠)取対策。注文者(本人)の保護
③上得意様(多数・高頻度利用者)への謝礼。該当者を優遇するのはごく自然
④キャンセルロック解除：(6)への便宜＝3アウト解除の手段
- (5) 製造の過少過多回避→機会損失とロス回避→コスト削減→安価で提供。ジャストインタイム生産に習い改名し、オンデマンド生産と命名する。リードタイムが短い所以
- (6) お客様の「おすじどころではない」事情に対し、弊社は、何もお手伝いできません。したがって、無断キャンセルで一向に構いません。年2回まで可とします。

【食品宅配・配送の問題・限界点】

- ①食品に限らず、配送・宅配は概念的に2つの形態に分類される。一つはルート配送、もう一つは個別(P2P：ポイントツーポイント)配送である。鮎や蕎麦など鮮度が要求される食品の配送形態は、P2P配送に限定される。ルート配送は論外である。いくらIT技術が発達してもいつ、誰から、いくつの配送が要求されるかの予測は困難である。それを充足させる待機要員や車輛等はコスト増(結局お客様負担となる)を誘因させる。
- ②以前、ある食品をネット通販で注文したが、配達時間の齟齬があり(注文者は午前を指定、販売者は14:00～16:00の指示でモノが動いた)結局注文者(著者)は半日どころか、ほぼ1日荷物待ちで棒に振った体となってしまった。お客様を待たせること業者側への苛立ちは、業者側の想像を超える甚大なるものである。また、鮮魚介類のネット通販の問題点・限界点が明確に浮かび上がった。それが発案のトリガーの一つである。

【補足】

サテライト店の形態は、委託販売、卸(仕切)売、直系販売・・・柔軟に対応と考えている。条件は①食の安全・安心の担保②店員の適切な顧客対応③駅周辺立地以外の駐車スペースの確保が主なところ。当該方式は流通バッファの応用の一例である。